

平成29年11月 斐伊川水系水質情報

平成29年11月(宍道湖:9日・中海:7日採水)				単位:mg/l(Chl-a: μg/l)						
項目	層	S-3(宍道湖湖心)		N-6(中海湖心)			米子湾中央部			
COD	全層	3.4	△ やや低い	4.3	△ 平年並み	5.4	△ 平年並み	5.4	△ 平年並み	
全窒素	上層	0.58	△ 平年並み	0.93	★ 非常に高い	0.82	△ 平年並み	0.82	△ 平年並み	
全リン	上層	0.025	○ 良好(平年並み)	0.071	× やや高い	0.052	△ 平年並み	0.052	△ 平年並み	
Chl-a	上層	22	△ 平年並み	15	△ 平年並み	18	△ 平年並み	18	△ 平年並み	
塩化物イオン	上層	1,370	△ 平年並み	5,120	○ やや低い	4,490	○ やや低い	4,490	○ やや低い	
	下層	1,380	△ 平年並み	16,600	△ 平年並み	8,520	○ やや低い	8,520	○ やや低い	
溶存酸素	上層	10.4	平年並み	11.7	やや高い	12.0	平年並み	12.0	平年並み	
	下層	10.2	平年並み	3.3	平年並み	5.7	平年並み	5.7	平年並み	

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.1	やや下降	3.5	やや上昇	4.3	やや上昇
全窒素	上層	0.71	やや下降	0.41	上昇	0.56	やや上昇
全リン	上層	0.029	横ばい	0.035	上昇	0.069	横ばい

宍道湖の透明度は1.8mから1.9mと横ばいで、良好を維持している。中海の透明度は2.3mから2.2mと横ばい。米子湾の透明度は1.5mから2.0mにやや上昇。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	↑	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	↑	×	<やや高い>
10年間平均値	↑	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値	↓		ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%